

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)【R5.11.30変更】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合こちらには理由記載	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			雇用・教育・昇進・福利厚生などあらゆる雇用条件において差別のない体制を構築。「会社方針策定手帳」により全社員に周知。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			就業規則の中に「ハラスメント防止既定」を設け社員に周知。 社内相談窓口(セクハラパワハラ110番)を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			多様な働き方を許容する勤務体制(シフト)の整備。 管理者 は毎月労働時間管理を励行している。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			外国人労働者の積極的採用。外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備。社長面談を適時実施。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			定期的な健康診断・歯科検診の実施。雇用時の安全教育 実施。安全運転講習を毎年開催。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			メンタルヘルスに関する方針と計画を策定している。 AIG損害保険の「メンタルカウンセリングサービス」に加入。新入社員向けSAP(セルフアファメーションプログラム)実施。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			積極的な障害者・外国人採用を実施。現在障害者4名外国人8名在籍。女性管理職の積極登用現在32%。すべての労働者は平等な処遇・評価制度を採用。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			毎月2回の全社員向け社長講習、年4回のスキルアップトレーニングの実施。新卒2年目までは月2回の新卒向け研修 など職務に応じた研修の実施。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			同一労働同一賃金等の原則に沿った給与規定構築。評価 制度も同様に構築。					5.5			8.5		10.2 10.3							
環境	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			全社員対象に毎年の健康診断・歯科検診の実施。さらに毎月の検便検査、抗原検査の実施。産業医への相談体制の整備。メンタルカウンセリングサービスへの加入。			3					8									
	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			市の廃棄物処理及び清掃に関する条例に基づく減量化・資源化計画を提出しそれに基づいた廃棄物管理を行っている。										11.6	12.4		14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			燃料(灯油・ガス)、電気使用量を毎月記録。前年比較・推移を把握。[予定]温室効果ガス排出量については環境省の 制度を使い実施する。							7.3						13				
環境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			館内全照明をLED化している。デマンドコントローラーを使用し 電気の使用量を抑える取り組み。							7.2 7.3				12.4	13.3					

	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			建物内にあるPCB機器等を把握し、適性に管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4						
カテゴリー	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の場 合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			環境に配慮した素材の製品を使用しサービスを提供すること で生物多様性保全に配慮している。						6.6									15			
	【3 Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			ゴミの分別廃棄と、総排出量の削減。リサイクル率 向上の為 宿泊者もゴミが分別しやすいよう複数のゴミ 箱を設置。環境 に配慮した脱プラアメニティーの導 入。バイオマスレジ袋導 入。											12.5		14.1					
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			水道使用量・温泉使用量を記録。お客様あたりの使用 量を 把握し節水型のシャワーを設置。						6.4 6.6												
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得して いる	チャレンジ (任意)						3.9			6	7					12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			自社HP・フェイスブック等にて随時情報発信をして いる。												12.6						
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)										7.2						13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			自社特有の水源(蓼科)を保有し、適切な管理のもと 飲料水 等に活用している。												12.2	13	14	15			
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			就業規則に服務規律を設け、社員に周知している。																16 16.5		
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			宿泊予約のサイトコントローラーを使用している。																16		
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			就業規則に服務規律を設け、社員に周知している。								8.2 8.3	9									
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			ホームページ上での予約に関してはSSL暗号化技術を採用 している。プライバシーポリシーを設定し開示してい る。																16		
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)																			16		
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系 への悪影響の防止、倫理面での適切な対応 (ハラスメント・汚職・贈収賄防 止) について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)								5			8		10		12	13	14	15	16	17	

【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）																		16	
【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）										9		11		13 13.1				16	
【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）									8	9									17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。） ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）
--

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定